

## 追浜小学校3年生の授業

追浜小学校3年生は、身近な自然を探することを目的に、鷹取山公園に行き、鷹取山公園で生き物を探し観察しました。後日は学校裏の鷹取川に行き、川の生き物を探し、手で触れて体験型の学習をしました。山と川の生き物に触れ観察することを通し、自分たちでも生き物を育て、守りたいという意識が芽生えました。

### 令和5年度の実績

以下の日程で専門家の講師が授業を行いました。

- 授業「学区の自然を体験しよう」  
フィールドワーク1：令和5年6月7日(水曜日)  
座 学1：令和5年6月13日(火曜日)  
フィールドワーク2：令和5年7月7日(水曜日)  
座 学2：令和5年7月11日(月曜日)  
座 学3：令和5年9月15日(金曜日)

### 授業「学区の自然を体験しよう」

#### フィールドワーク1

- 実施日：令和5年6月7日（水曜日）
- 内 容：講師は鷹取山に行く途中の道で、桜の実やクワの実、アケビの実を示し、食べられることを説明しました。鷹取山では植物（オニシバリ：鬼を縛れるほど樹皮が丈夫なことからこの名前が付いた）について説明をし、アリジゴクやトカゲを捕まえて観察しました。その後、草地で自由時間を取り、生徒たちには生き物を捕まえる体験をしてもらいました。生徒たちは、バッタやチョウを捕まえました。生徒たち体を動かして生き物と触れ合い、自然を体験しました。



## 座学 1

- 実施日：令和5年6月13日（火曜日）
- 内容：鷹取山に仕掛けたセンサーカメラの画像で、アカネズミが映っていたことを確認しました。また、フィールドワークで観察したアリジゴク（ウスバカゲロウの幼虫）やチョウ（シジミチョウ）の説明をしました。鷹取山の草地で生徒たちが捕まえたショウリョウバッタの食草や、一生についての説明から、食物網、生態系の話まで発展させました。



## フィールドワーク2

- 実施日：令和5年7月7日（水曜日）
- 内容：小学校の裏の鷹取川をたどり、上流まで行きました。講師は川の上流と下流との違いを説明しました。また、講師が設置したわなにかかったスミウキゴリ、シマヨシノボリ、テナガエビを観察しました。その後、生徒たちは川に入って、自分たちで生き物を探し、ヨシノボリ、ヤゴ、テナガエビ、シマアメンボを捕まえました。川でも体験型の学習ができました。



## 座学2

- 実施日：令和5年7月11日（火曜日）
- 内容：講師は、フィールドワークで見られた生き物の説明をしました。そして川の水はどこから来るのかという話をきっかけに水の循環、川の役割、護岸整備による生き物への影響、食物網の説明をしました。



## 座学3

- 実施日：令和5年9月15日（金曜日）
- 内容：生徒たちは6月と7月に行った自然体験の授業の後、自分たちで生き物を守るために何をしたら良いか、何が出来るかを考えました。そこから生じた質問や意見を、講師が答える形で授業を実施しました。生徒たちが出来ることとして、講師は学校の敷地内にビオトープや田んぼを作ることを提案しました。生徒たちは学校の敷地内にビオトープを作り、在来生物の移殖を考えることになりました。